

教科名	探究科	校 種	中学校
-----	-----	-----	-----

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など，授業の形態
1 年	探究	必	1	TT（ティームティーチング）
2 年	探究	必	1	TT（ティームティーチング）
3 年	探究	必	1	TT（ティームティーチング）

科目名（教科名）		探究			
学年	1	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 自分の周りとそれを取り巻く世界で起こっている出来事（グローバルイシュー）を知り、そのつながりに気づき、自ら解決方法を探る。 2. 自らアクションを起こすきっかけとする。				
学 期	授 業 の 項 目			内 容	
1 学 期	1 チームビルディング 2 ガイダンス 3 環境について考える 4 平和について考える (2学期へつなぐ) インスパニア・ハイの探究教材 3回			・コンセンサスゲーム 「砂漠からの脱出」 探究」の授業とは 「世界がもし100人の村だったら」 (DEAR) ・ウータン・森と生活を考える会講師によるワークショップ ・ジャーナリストの西谷文和氏の講演	
2 学 期	5 難民問題を知る インスパニア・ハイの探究教材 3～4回			・難民とは？（難民と人権問題） ・日本の難民受け入れ状況	
3 学 期	3 身近なもの（こと）から考える ・スマホ インスパニア・ハイの探究教材 2回			・スマホから世界を考える	
評価の 観点	【知識・技能】 (30%)	ワークシート			
	【思考・判断力・表現】 (40%)	ワークシート、ポスターセッション、プレゼンテーション			
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価しつつ、様々なアウトプット活動への取組状況、自己評価の結果を加味する。			
評価の方法と割合	● 評価方法 : A, B, C の3段階評価				
教科書・副教材等	● 副教材 : 開発教育協会 (DEAR) 「世界がもし100人の村だったら」 他 インスパニア・ハイの探究教材				

科目名（教科名）		探究				
学年		2	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 自分の周りとそれを取り巻く世界で起こっている出来事（グローバルイシュー）を知り、そのつながりに気づき、自ら解決方法を探る。 2. 自らアクションを起こすきっかけとする。					
学 期	授 業 の 項 目			内 容		
1 学 期	1 チームビルディング 2 ガイダンス 3 フェアトレードについて考える 4 フェアトレード製品の販売（学院祭）の準備 インスパニア・ハイの探究教材 3回			・コンセンサスゲーム 「砂漠からの脱出」 探究」の授業とは「世界がもし100人の村だったら」（DEAR） ・コーヒーカップの向こう側（DEAR）		
2 学 期	1 フェアトレード製品の販売（学院祭）の準備 ・販売商品についての調べ、発注 ・販売商品についてのPOP作り、ポスター作り ・フェアトレードのパンフ作り 2 環境問題を考える インスパニア・ハイの探究教材 3回			・プラスチックごみの海洋汚染		
3 学 期	3 平和を考える			・次年度の修学旅行に向けて		
評価の 観点	【知識・技能】 (30%)	ワークシート				
	【思考・判断力・表現】 (40%)	ワークシート、ポスターセッション、プレゼンテーション				
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価しつつ、様々なアウトプット活動への取組状況、自己評価の結果を加味する。				
評価の方法と割合		● 評価方法 ： A, B, C の3段階評価				
教科書・副教材等		● 副教材 ： 開発教育協会（DEAR） 「コーヒーカップの向こう側」 他 インスパニア・ハイの探究教材				

科目名（教科名）		探究			
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. ベトナム修学旅行の事前学習として、ベトナムの文化、経済発展を知り、そこから日本とのつながりにも気づき、国際社会で生きるための知識や力を探る。 2. ベトナム戦争について考え、平和について学ぶ。				
学 期	授 業 の 項 目			内 容	
1 学 期	・ベトナムについて学ぶ ・調べ学習			・ベトナムの経済発展と日本 ・ベトナム戦争 ・ベトナム事情について（マナーなど） ・ベトナム食を体験 ・ベトナム語で挨拶 ・各班に分かれテーマに従って調べ学習	
2 学 期	・ベトナムについて調べ学習 ・プレゼン発表			・各班でプレゼン発表する	
3 学 期	・修学旅行振り返り			・各班で修学旅行での体験を振り返り、プレゼンを作成し発表する	
評価の 観点	【知識・技能】 (30%)	ワークシート			
	【思考・判断力・表現】 (40%)	プレゼンテーション			
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価しつつ、様々なアウトプット活動への取組状況、自己評価の結果を加味する。			
評価の方法と割合	評価方法：A, B, C の3段階評価				
副教材等	DVDなど 進行状況によって適宜内容を変える				